

令和5年度 岐阜県流域下水道事業経営戦略 取組実績

令和2年度に策定した岐阜県流域下水道経営戦略（令和3年度～令和12年度）の基本方針の実現に向けて、「水洗化率」「耐水化率」「経常収支比率」「汚水処理原価」を目標に定め、毎年進捗管理を行っています。

基本理念：生活に不可欠な下水道の機能・サービスの持続的・安定的な提供

<基本方針>

(1) 持続可能な下水道機能の維持向上 (2) 災害に強い下水道施設の強靱化 (3) 経営基盤の強化

数値目標

項目	目標	実績	分析
水洗化率 (接続率)	(R12年度) 91.7%以上	88.2%	関連市町の下水道整備により、令和4年度から0.3%上昇しました。
耐水化率	(R12年度) 90%以上	75.0%	4施設中3施設の耐水化が完了しました。
経常収支比率	100%以上	104.6%	数値目標の100%以上を達成しました。
汚水処理原価	70円/m ³ 未満	57.8円/m ³	令和4年度と概ね同水準であり、目標値を達成しました。

【参考】投資・財政計画

区分	計画(A) (百万円)	実績(B) (百万円)	(B) / (A)	検証
収益的収入	5,513	5,787	105.0%	令和5年度の流入汚水量が計画に対して約4.7%の増となったことから収入及び支出が増加しました。
収益的支出	5,393	5,533	102.6%	
資本的収入	1,693	1,227	72.5%	令和5年度から令和6年度に工事等を繰越したことにより、計画に対する実績が減少しました。
資本的支出	2,443	1,825	74.7%	

～用語説明・算定式～

項目	説明	算出式
水洗化率 (接続率)	処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水処理している人口割合。	$\frac{\text{水洗化人口}}{\text{現在処理区域内人口}} \times 100$
耐水化率	耐水化の進捗状況を表す指標。	$\frac{\text{耐水化した施設数}}{\text{全施設数}} \times 100$
経常収支比率	当該年度において、負担金等の収益で費用をどの程度賄えているかを表す指標。	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$
汚水処理原価	流入汚水量1m ³ あたりの処理に要した費用。汚水処理資本費・汚水処理維持管理費の両方を含む。	$\frac{\text{汚水処理費（公費負担分を除く）}}{\text{年間流入汚水量}} \times 100$